取り組むべき項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
安定的な経営体制の確立・施設			
維持管理の適正実施			
1 廃棄物処理量の維持	年間51,000t以上の受入量の確保		
			٦
	[ 52, 472t]		
	経費縮減・計画的修繕の実施による経常利益の達成(黒字化)		
2 経常利益の黒字化	在	*計画的修繕の夫施による栓吊利益の達	风(羔子化)
・経費の縮減 ・計画的な修繕や効率的な点検等			
により、老朽化による突発故障を防	【经典刊共 0.6 0.1 0.4 四】		
止することで、受入量を確保し、収 益を改善	【経常利益 26,212千円】		
	【繰越損失2,137,665千円】		
3 法人の今後のあり方の検討		   関係者間において法人のあり方を検討	
鹿島地方事務組合の新ごみ処理施		<b>資保日间に830・C次入のの分別を採</b> 引	
設が、令和6年4月に稼働予定であること等を踏まえ、当センターの将	│ │【「当法人と主要株主との間で協議を重ね		
来のあり方について検討を進める	ていく」との方針を決定】		
必要がある。			
			2
4 進行管理結果の公表	毎年度の進行管理	里結果を県議会に報告するとともに、県ホ-	ームページ等で公表
	【R3.6月 県議会報告】		
	【R3.6月 県ホームページ公表】		